



めむろ町民活動支援センター
「ひと」が見える・「まち」が見える

めむろ コミ

MEMURO COMMUNICATION

2025年春夏号 vol.6

特集

学びたい気持ち、
いつまでも

◆リレーコラム
今西 直人さん

◆まちなか取材 とびある記
まちなかコンサート♪
活動団体取材レポート



図書館まわり屋外ステージ



芽室民謡会



盲児ネットめむろ



英語で読む会

学びたい気持ちはいつまでも

誰かに強制されるのではなく、好奇心のまま自由に学ぶ。きらきらとした表情で新たな発見を教えてください。大人になってからも学び続ける人たちに、会いに行ってきました。



英語で読む会
毎週水曜10:00-11:30活動。

この日の参加者はSさん(50代)、
Yさん(60代)、Tさん(70代)、
そして代表の横溝真佐子さん(写真右)

英語を学びたい

「Good morning!」

軽やかに英語で挨拶しながら、
会員たちが集まります。代表の
横溝真佐子さん宅が会場です。
今年で12年目を迎えるサークル
『英語で読む会』の皆さんに会い
に行きました。

映画を英語のテキストで読ん
でいきます。15分ほど英語字幕
つきで映画を観て、その部分の
セリフを音読し、訳していきます。
ひとり5分ほどを担当し、2周
します。予習が必須になっていま
す。

——大変ではないですか？

Sさん 私は週末に予習してい
ます。水曜日が近づいてくる…
とちょっと焦りながら(笑)でも、
「楽しい時間」が待っているから。

確かにみんな楽しそう…!

冒頭、映画を観ている時点で
「恋人同士なのにねえ」「つま
ない会話よねえ」でも彼にとっ
てはさ…と賑やかに感想が行
き交っていました。訳していると
きも「わあー！これ、トドメさし
てる言葉だよね」「本音はさ、こ
うなんじゃない？」と登場人物
の心情を推察していきます。

Tさん 映画でしょうか？ 物語の
とらえ方が人によって違うから
訳していて面白いのよ。

横溝さん そうそう、Tさんが

「ここはラブシーンだ！」って言
う場面で、ほかのひとは
「えーっ？」ってなったり(笑)

学生時代ぶりに英語学習をし
ているというYさんは、毎日予習
時間を作り、2、3回は訳すそ
うです。

Yさん ウキウキするんです。み
んな勉強、好きですよね！

Tさん 学生のころはそうじゃ
なかったんだけどね…



皆さんが読んでいたのは、カズオ・イシグロ
原作の映画「日の名残り」でした。

教材は代表の横溝さんが準備しています。

活動初期は、横溝さん自身が読みたいと思った英文を取り上げていました。物語やニュース記事、演説などです。20作以上終え、次はどうしようかと考えていたところ、「英語学習に映画が向いている」と新聞記事に掲載されているのを見つけました。

横溝さん 古い映画がいいですね。

英語が分かりやすい。あらすじも知っていれば予想しながら読めます。準備は本当に大変なのですが(笑)、みんなが楽しんでくれるから続けられています。クラスっていいなあと思います。

訳で詰まることがあると、横溝さんが「〇〇では？」辞書を引いてみましょう」と声をかけ、前へと進めます。

Yさん 最初、知っている単語だけなのに、その文章の意味がわからなくてびっくりしました。辞書を引いてびびったりのものを見つけれられたときは、とても楽しいです。

横溝さん 徐々に単語の意味を推測しながら読み進められるようになってくると、辞書であらためて確認したときに「予想が合っていた！」となるのも嬉しいですよ。



代表の横溝さんは大人向けの英語塾を開いていました。60歳を過ぎて無料のサークル活動へ舵を切りました。会員の募集は新聞の地域情報コーナーで呼び掛けました。

会員歴が5年、10年と長い方も多く、「英語が好き、学ぶことが好き、という人はずっと好きなんだなと感じます」。

現在は活動を徐々に小さくしていますが、会員からは「勉強時間を短くしても良いから、続けてほしい」とお願いされているそう。

「会員皆さんの学ぶ姿を見て、刺激を受けています」



取材を終え、1日の時間の使い方を見直したくなりました。「やってみたいことがあれば、いつからでも始められますよ。Never too late to learn. 遅すぎることはないですから！」と横溝さんは笑顔で送り出してくれました。そうです、今回の特集のタイトルは横溝さんの言葉からでした。



これまで学習した映画タイトル

「風と共に去りぬ」
「ローマの休日」
「エデンの東」
「ドクトル・ジバゴ」
「ジュリア」
「メイド・イン・マンハッタン」
「やさしい本泥棒」
「ハリーポッター」
「マイ・インターン」

「モナ・リザ・スマイル」
「アイアムサム」
「アトランティスのころ」
「ショーシャンクの空に」
「ギフテッド」
「めぐりあい」
「ジェーン・エア」
「嵐が丘」
「ボブという名の猫」
「ミス・ポッター」

会員さんへQ&A 「サークル入会のきっかけは？」

Sさん(会員歴5年)

英語に触れたことはあったので、また勉強したいなと思って。めむろ町民活動支援センターの冊子を見て、入会しました。

Yさん(会員歴7~8年)

退職をきっかけに、今までやったことがないことをしたい！と思っていたところ、身近なところで英会話学習の話をしている人がいたんです。知らない人だったけど話しかけて、「英語で読む会」のことを知りました。

Tさん(会員歴7~8年)

ずっと誘われていて、やっと時間ができて、入会しました。夕食後の自分の時間の中で趣味の1つとして予習します。多趣味なので、火曜になってあせり、深夜まで勉強することもあります。

郷土史を知りたい

もうひとり、学ぶ楽しさをイキイキと感じさせてくれる方にお話を聴きました。

郷土史について調べ始めました。初めてお会いしたときも、「めむろ歴史探訪会」に所属している今も、「こんなことがわかったよ!」と目を輝かせて教えてくださいます。

——郷土史を調べようと思ったきっかけは、何かあったのですか？

瘡師さん 退職直後、芽室町役場の企画で「芽室の魅力を発見しよう」というのがあったんだよね。ヒマだし仲間もできるかな? と思って参加したのはいいんだけど、自分は芽室のことをほとんど知らないと感じて。

就職後、町外で長く勤めていたためでしたが、このときの思いがきっかけで、町中のあるものが気になり始めました。

瘡師さん コロポックルの像! ✓



「何か調べるにも体力がない」と総合体育館のジムへ通ったりパークゴルフを楽しんだりしています。



駅前から北へ向かう本通り添いに、可愛いコロポックルの像が並んでいます。(写真提供・芽室町観光物産協会)

あれ、なんであるんだろう、コロポックルの物語なんて聞いたことないぞって気になって。

図書館で資料にあたると、コロポックル達が新嵐山で暮らしていたという伝承を見つけました。

瘡師さん 伝承の中のコロポックルって、人のために行動するんだよね。いいなあ、こういう人達のようにになりたいと思ったね。たくさんの方がコロポックルの「人間性」を知ってくれたらいいのにな。

——湧いてきた疑問はそのままにしないですね。

瘡師さん 知らないままはつまらないよね。いろいろ調べてみると出会いがあって面白いよ。

以前調べたものがたまたま博物館で展示されていることがあり、博物館の職員とも話すことができたそうです。「わかる」楽しさを味わいました。

瘡師さん 時間が経つと、建物や祭りがなくなったり、そのことを知っている人もいなくなったりするから。郷土史を調べると先祖と自分との結びつきを知ることができるようね。郷土史を知ったことで、芽室にはいつも人がいて、賑やかでいてほしいなと思います。

お話を聴いて「なぜ?」と探求する姿、「これがわかった!」と教えてくれる笑顔に刺激を受けました。

リレーコラム

芽室にお住まいの〇〇さんから見える、芽室の“今”をご紹介します。今回は・・・

今西直人さん

男性はどこに？

「男はどこだ」「どこにいる？」

先日参加したイベント(アクティブシニア活動体験)で感じたことだ。まず生命の貯蓄体操を体験した。丹田を意識した呼吸法だ。参加32人中、男は4人であった。編みぐるみ作りの全員女性とは仕方ないにしてもあまりに少ない。他のコーナーを見ても男は一割いればいい方。後日ピンピン体操にも2回ほど参加したが初回は52人参加に対し男は5人、2回目は



40人のうち男性6人。やはり男は一割である。

なぜ家から出てこないのか？

男のプライド。俺は精一杯仕事してきた。だから今はゆっくりしたい。なんでもこのこ出ていかなければならないか・・・と。

父の例であるが70歳すぎたころから一切外に出なくなつた。散歩を勧めても今まで一生分歩いてきた(農業で)からあえて運動しなくてもいいと。どうも、てくてく歩いて人前にでるのが恥ずかしいようだ。変なこじつけ、プライドである。



アクティブシニア活動体験
2024年11月27日開催

生命の貯蓄体操の様子→

編みぐるみづくり体験の

様子↓



しかし心身ともに健康でとの思いは誰でも持っているはずだ。変なプライドを捨て、「男は黙って外にでる。」

今年はチャレンジの年としよう。私も忙しくこの秋初めて、参加させてもらったイベントだったがこれからも時々参加し、より充実したシニアライフを楽しんでいきたい。



先日NHKテレビで100歳の人150人に取材しアンケートを取っていた。健康で長生きのポイント三つあげていた。

1つ、食物繊維の野菜。2つ目、チョコチョコ運動でスポーツらしきものをやってみるとは15パーセントと少ない。3つ目は「つながり」とのこと。

意外であった。孤独ひとりでは早死にする。そこで思った。サロン活動こそ健康長生きそのもの、適度に体を動かし「つながり」仲間も増える。こんないいことはないはずだが……！

50以上もあるサロン、探してみよう必ず見つかる……！

まちなかで♪ コンサート♪

暮らしの中にある地域の人と人との繋がりを、写真をとってお知らせします。

エシー朋子さん @公立芽室病院

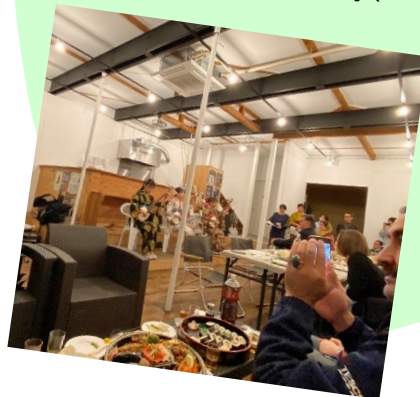
エシーさんは芽室町出身の
ピアノ奏者。クラシック音楽、
童謡、クリスマスソング、映画
音楽に「ブラボー!」の声か
上がりました。
アンコールの拍手に応え、
「津軽海峡冬景色」で演奏
会は締めくくられました。
(2024/12/12)

「音楽で癒しを」と高齢者施設
での音楽レクリエーション、
ミュージックセラピーなど
セラピストとしても活動中です。



芽室民謡会 @ユナイトベース

JICAの研修としてパキスタン
の方々が芽室町へ。親睦会で
「十勝馬唄」などを披露し、日
本の文化を伝える機会となり
ました。(2024/11/12)



白樺学園高校吹奏楽部 @芽室町図書館屋外

「屋外にあるステージで音楽演奏を」との
実行委員会の思いを受け、実現しました。
クラシックだけでなく、「世界に一つだけの花」
「マツケンサンバ」も青空に響きました。
(2024/9/28)



ちーむ・かと・なか @スペースクシュクシュ

オカリナとギターのコンサート
がまちなかの本屋・珠玖ライ
オン堂2階で行われました。
コロナ前は十勝各地で施設
慰問コンサートをしていたお
ふたり。久しぶりのコンサート
では「上を向いて歩こう」「ク
リスマスメドレー」などを演奏
しました。
(2024/12/15)



こちらの会場でのコンサート
は、芽室町と縁が深い音楽
家・オマチマンがプロデュース
しています。今後も様々な
方がコンサート開催予定♪



芽室合唱団 @芽室中学校

地域の方々に向けた合唱披露
の場で、「芽室合唱団にも発
表していただきたい」と中学校
より依頼があり、『群青』を歌
いました。(2024/10/3)

芽室合唱団は2024年に
創立20周年を迎えました。
2025年6月には記念
コンサートが予定されて
います。



活動団体取材レポート



育児ネットめむろ

代表・小池和枝さん
 あいあい1階 事務局
 ☎62-0833
 ファミリーサポート、育児
 用品リサイクルなど



お父さん・おじいちゃん限定イベント「父親料理教室」を開催、7名が参加し、春巻きを皮から手作りしました。(パパスイッチ実行委員会企画、講師:町内の薬膳料理「二十里」店長・伴野政章さん)「料理するのは半年に1回程」という参加者が多い中、ああかな? こうかな? と試行錯誤しながら取り組みました。うまいかなさを笑いあったり、子どもの食事のことやお弁当のことも話したり。最後は春巻きを頬張り、「おいしい!」と笑顔で締めくくりました。



帯広友の会 芽室・ひまわり最寄

代表・江口久子さん
 火曜、土曜
 会員宅



一般の方に向けた年に1度の講習会で、「防災食」を紹介しました。町民活動支援センター主催「かんたん非常食クッキング～お湯ポチャレシピ@体験学習」に参加したことがきっかけでした。会員の福田さんは、数年前の大規模停電を体験して、あたたかいものを食べる喜びを感じたとのこと。この調理方法はぜひ紹介したいと思い、講師の佐々木さんに相談、会員と練習を重ねました。参加者からは「家で練習してみます」との声が寄せられ、防災の輪が広がりました。



めむろ歴史探訪会

代表・柳澤正弘さん
 芽室町・十勝管内の歴史を調査研究し、郷土を知る活動をしています。



昭和30年代頃の、十勝の嫁入りの様子を描いた映画「馬櫓(ばそり)の花嫁」を上映しました。来場者は400名を超えました。町内で実際に馬櫓で嫁入りをしたお2人に、会員がインタビューを行った動画も上映。嫁入り道中に子どもたちにお菓子を配ったことや、嫁入り後の暮らしも話されました。会場からは、当時を知る共感の声や笑い声があがりました。芽室民謡会による「十勝馬唄」「十勝小唄」の歌唱では、口ずさむ方も多く、会場は一体感に包まれていました。



カフェ 来★ぶら～り

月・水・木・土 11時～16時
 芽室町図書館1階ロビー
 ☎090-1521-5205



2013年3月に閉店状態となり一時無人となったカフェコーナー。寂しさを感じた有志が集まり、同年8月に「来★ぶら～り」を始めました。できる限り十勝産の食材(チーズ、小麦粉、ベーコン、野菜等)を用い、手作りのランチとお菓子を提供しています。お客さんとの交流も大切にしています。借りてきた本を読んでいる方や親子連れ、ときには子どもたちだけの来店も。“ぶらり”と立ち寄ってほしいとの願いを込めた名前どおり、居心地の良い場所となっています。

センターだより

めむろ町民活動支援センターの事務所には、皆さまからお花を寄せていただいています。きっとご自宅は素敵なお庭なんだろうなと思いつつ、屋内にいながらにして、色彩豊かな空間を楽しませていただいています。お裾分けの気持ちも込めて、紙面にてご紹介いたします。



こんな色もあるのと驚きのダリア



冬には
ドライフラワーも



珍しいバナナの木

【発行:めむろ町民活動支援センター】

様々な分野の住民活動を支援する施設です。「豊かに暮らしたい」「町・地域社会をもっと良くしたい」と願う芽室町民の自発的な活動を応援しています。

- 町民の自主的な活動や、まちづくりに関する情報を知ることができます。
- 活動を始めたいとき、仲間がほしいとき、お気軽にご相談ください。
- コピー機・印刷機・会議室などの設備を利用できます。
※設備利用の際は登録ください。
※町内会・子ども会・老人会は登録不要で利用いただけます。

◆住所 〒082-0013 北海道河西郡芽室町東3条3丁目1番地
芽室町中央公民館1階

◆電話番号 0155-62-0413 ◆FAX番号 0155-62-0414

◆メールアドレス katsudou.center@cotton.ocn.ne.jp

◆開館時間 月～金(除祝日・お盆・年末年始) 9:30～17:00

◆めむろ町民活動支援センターは、特定非営利活動法人まちづくりプラットフォームめむろが芽室町から委託され、運営しています。



MEMURO_KATSUDOU



月1回程度
イベント情報発信



ホームページ

『めむコミ』は
公共施設など町内各地に
設置しています。
ホームページからも
ご覧いただけます。